

島嶼看護の高度実践指導者の育成—島嶼現地指導と遠隔指導の融合型教育

沖縄県立看護大学大学院

取組実施担当者 代表 神里みどり

プログラムの目的と特徴

- 1 島嶼看護の高度な実践・実践的教育研究指導ができる看護指導者の育成
- 2 住民の生活文化に根ざした看護を実践できる高度な島嶼看護専門能力の育成
- 3 宮古を拠点にした島嶼看護の現地での教育研究指導



島嶼保健看護特論Ⅰの講義：
宮古島教室



地域文化看護論の講義：宮古島教室

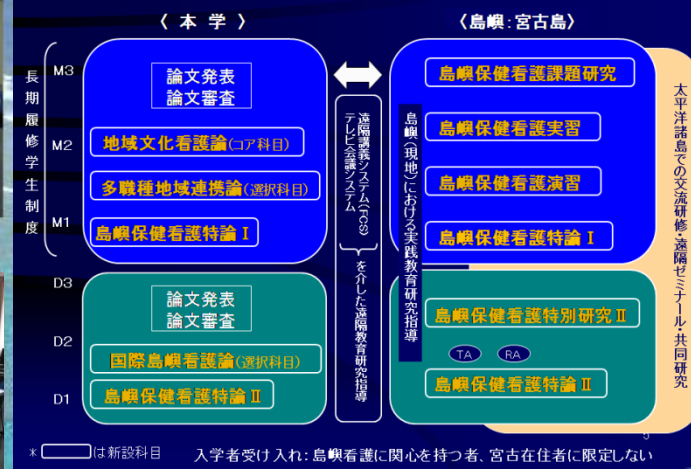


多職種地域連携論の講義：宮古島教室

沖縄県における島嶼看護の必要性



島嶼現地指導と遠隔指導の融合型教育



* □ は新設科目 入学者受け入れ：島嶼看護に関心を持つ者、宮古在住者に限定しない

島嶼看護の高度実践指導者の育成



宮古島教室の開設
(宮古病院院長・学表)



公開講演：
カウロイ大学・オノ先生



公開講演：
講師 北大 玉城英彦教授



台北医学大学看護学部長



サイパン Commonwealth
Health Center



2009 APNLCカンファレンス

期待される成果

- ・島嶼看護の高度実践指導者が育成される
- ・離島地区での保健医療福祉看護が活性化される
- ・島嶼看護学が確立される

修了後に期待される人材像

- ・博士前期課程：島嶼における実践教育指導を担う保健医療福祉・看護分野の責任者及びケアコーディネーター、現地指導者、共同研究者としての人材
- ・博士後期課程：島嶼保健看護学の教育研究指導にあたる大学教員、臨床指導教授などの役割が担える人材



於：テニアンヘルスセンター
知事(左端)・センター長・ナース



Dr Maria Salomon 看護学部長(野口学長) 沖縄県内島嶼・ナースィングリーダーシップ会議 日本公衆衛生学会「自由集会」於：奈良市
後列：看護教員とグアム看護協会長

